

地域交流スポーツ祭 終盤戦！

年間5種目のスポーツ競技で競われる地域交流スポーツ祭は、9月27日のワンバウンドふらば～る大会をもって4種目が終了いたしました。残す種目は、11月17日のメディシンボールのみとなりました。

4種目終了時点での成績は下表のとおりですが、皆さんの地域はいかがでしょう？

とびきり笑顔な競技結果を残せるよう、残りの種目も地域一丸となって取り組みましょう！

■令和元年度 地域交流スポーツ祭 現時点での順位表

	玉入れ	ファミリーバドミントン		室内ペタンク			ワンバウンド ふらば～る	現時点 の総合順位
		男女混合	シニア	一般	三世代	熟年		
焼津1	22位	優勝	5位	6位	4位	3位	5位	21位
焼津2	18位	4位	3位	優勝	4位	6位	2位	14位
焼津3	10位	2位	4位	4位	5位	3位	3位	15位
焼津4	20位	6位	4位	優勝	優勝	4位	3位	11位
焼津5	9位	優勝	4位	5位	7位	3位	4位	18位
焼津6	24位	5位	6位	優勝	4位	優勝	6位	18位
焼津7	23位	4位	5位	7位	3位	優勝	5位	21位
豊田8	25位	3位	4位	3位	3位	2位	優勝	9位
豊田9	7位	3位	優勝	3位	優勝	4位	優勝	3位
豊田10	8位	4位	3位	優勝	2位	優勝	優勝	1位
小川11	優勝	優勝	2位	4位	4位	5位	3位	6位
小川12	2位	優勝	優勝	4位	2位	3位	4位	1位
小川13	13位	3位	3位	6位	6位	5位	4位	24位
港14	26位	優勝	2位	2位	7位	5位	2位	13位
東益津15	4位	2位	2位	2位	5位	4位	4位	8位
東益津16	19位	2位	3位	4位	2位	2位	5位	11位
東益津17	17位	5位	4位	3位	2位	6位	優勝	17位
大富18	11位	優勝	3位	2位	5位	2位	2位	6位
大富19	3位	3位	優勝	3位	3位	6位	優勝	4位
大富20	6位	4位	2位	6位	6位	7位	2位	20位
和田21	16位	3位	5位	5位	6位	4位	2位	23位
和田22	12位	3位	2位	2位	優勝	優勝	5位	4位
港23	14位	2位	優勝	5位	優勝	5位	3位	9位
大井川東	21位	5位	5位	6位	6位	2位	5位	26位
大井川西	5位	5位	優勝	5位	3位	7位	3位	15位
大井川南	15位	5位	5位	7位	5位	6位	4位	25位

優勝チームに訊く

今年では、室内ペタンク大会、ワンバウンド
ふらばる大会の優勝チームから喜びの声と
勝利の力ギをお訊きしました。

■室内ペタンク

室内ペタンクは、一般の部、三世代の部、熟
年の部の3つで競い合い、まさに老若男女が
楽しめるスポーツです。

●焼津第2自治会

一般の部 A フロック優勝

体育委員長 寺尾 博邦

チームの特徴は、参加選手の多くに共通項
がある知人友人で構成され、良いコミュニケ
ーションが当初からできていたことだと思
います。

優勝の要因は、①競技方法を周知し、実戦
練習でスローイングを確認したこと。②勝ち
を強く意識しつつも、リラックステして投げら
れたこと。③半数のメンバーが経験者で技術
力が高く、また場面に戦略を相談しなが
ら協議競技ができたことが挙げられます。

参加選手は、休むことなく練習に参加して
いただき、実戦練習に取り組んでいただきま

した。初戦を勝ったことで、勝ちへの意識が
強くなり、選手間で声を掛け合いようムード
が維持できたことも、結果につながったと思
っています。

●焼津第4自治会

一般の部 B フロック優勝

総監督 小林 正二

私たちのチームは、毎年練習の成果が本番
で発揮できない 典型的な本番に弱いチー
ムで、毎回、肩をガックリ落としてシーガ
ルドームを後にしております。

そこで今年は、練習当初から本番さながら
の試合形式何度も繰り返し練習してまいり
ました。各メンバーのメンバー構成や投げる順
番も本番を想定して行い、ゲーム展開に伴い
各メンバーの役割を明確化したことにより、
今までにない試合中での立て直しや起死回
生のベストショットが出るようになりました。
今回の優勝で練習の成果が出たことは、
メンバーの自信となりました。あと、運を味
方につけることができたことも優勝できた
要因と考えます。

二世代の部 G フロック優勝

今回、私たちのチームが優勝できたのは、
やはりチームワークの良さであると思いま
す。

毎年、三世代のチームづくりで 一番大変な
ものは、メンバーの年齢層の幅が広すぎるた

め、メンバー同士が初対面のケースも多く、
チーム内を盛り上げるムードメーカーが出
づらく、雰囲気づくりが難しいことです。そ
んな中、今回のチームでは、シニアが飽きっ
ぽいジュニアにペタンクをレクレーション
ではなく、ゲームとしての攻略の面白さを根
気よく指導してくれたことにより、チーム内
での信頼関係が自然に築け、三世代 一丸とな
ってどう戦うかを考えたことにより、ムダ玉
が減ったことが勝ちにつながりました。今後
も一球一球を大切に頑張りたいと思います。

●焼津第6自治会

一般の部 D フロック優勝

体育委員長 神尾 博巳

今年度の地域交流スポーツ祭の種目にお
いて、初めて優勝できてうれしく思います。
これも選手の皆さんの協力があったからだ
と思っています。

さて、第6自治会では、地域交流スポー
ツ祭の室内ペタンク大会とは別に、毎年、町内
対抗ペタンク大会を開催しており、40名以上
も参加してくれています。老若男女、単身、
知人、家族での参加もあり、ペタンクの認知
度の高さと、誰でも気軽にできるスポーツと
して地域に浸透しているからだと思います。

フロック優勝の勝因としては、他の種目に
比べ、練習回数が倍の4回行ったこと、参
加者の多くがほかの種目にも参加していた
ので、仲間意識が持てたことが良かったと思

います。11月10日に開催される志太フレンドリーマッチでも良い成績が残せるように皆で頑張りたいと思います。

● 熟年の部 Kフロッグ優勝

地域交流スポーツ祭前の6月に、毎年、自治会内の「町内対抗ペタンク大会」があり、この大会は、クラス、年齢制限なしの自由参加です。今年は、12チームが参加し、6チームずつのリーグ戦だったので、1チーム5〜6試合あり、ボールに触れる機会が多かったことと、上位チームの方の多くが本大会へ出てくれたことが勝因だと思います。

● 焼津第7自治会

● 熟年の部 Jフロッグ優勝

体育委員長 村松 昇
体育委員からの頼まれにわかチームでしたが、運よく勝つことができました。

前日の土曜日に初めて練習に参加し、試行錯誤の末、自分なりの投球方法を見つけ、当日の試合に参加しました。試合結果は5対5引き分け、3対2で勝ち、5対3で勝ちと2勝1引き分けで優勝しました。圧巻だったのは、1試合目の0対5から最終投球で5点獲得し、引き分けにできた事が快進撃の始まりだったように思います。

この競技はチーム戦ではありませんが、ピュットに「一番寄せれば勝ち」と、ある意味個人競

技の要素もあります。チームの戦略は、まずジャンケンで必ず勝ち、先手を取り、更に1投目でピュットに「一番寄せ、相手にプレッシャーをかけること。相手の持ち球を少なくさせ、持ち球の数で優位に立つことだと結論付けて挑戦しました。また、ピュットをできるだけ遠くに置くことで、強い相手の大量点を防ぐことも実践しました。さて、来年はどうなることやら・・・

● 豊田第9自治会

● 二世代の部 Hフロッグ優勝

体育専門委員 ペタンク担当 鈴木 康夫
今回、ペタンク大会二世代の部でフロッグ優勝することができました。主な要因について考えてみました。

まず、私ども9自治会には、「コミュニティセンター」という小さな体育館を持つ施設があります。ここで、月2回スポーツ教室を実施していて、地域交流スポーツ祭前には練習の場として開放しています。



自治会に若い力が芽吹いています

次に、大会に先立ち、自治会内で町内会対抗大会を実施して、優勝した町内会のメンバーが市の大会に出場しています。また、豊田地区体育協会主催による8・9・10自治会の交流大会も実施されます。これらの大会を通して試合感覚が身に付き、また、チームワークが向上しました。

このように、練習するだけでなく、実戦で技術やチームワークを高められたことが、優勝に結び付いたと思います。

● 豊田第10自治会

● 一般の部 Cフロッグ優勝 ● 熟年の部 Jフロッグ優勝

体育委員長 長房 稔明
焼津のはずれ、藤枝市との境の豊田地区には、随分昔から8自治会と9自治会とわかれわかれ10自治会とで形成する豊田体育協会という組織があります。

各々の自治会で市の地域交流スポーツ祭に合わせ、自治会内で町内会交流大会を行い事前に練習する町内もあり、優勝チームや選抜選手にて、市の大会の1週間前の日曜日がたより、豊田体育協会主催で対抗戦を開催しています。

本年の10自治会だけでなく、8・9自治会も成績が良かったのは、ひとえに豊田体育協会の存在のたまものであるかと思えます。

ただ、「一般の部の優勝チームは志太フレンドリーマッチに出場しなければなりません。毎年、豊田体育協会は豊田公民館まつりに協

力しているため、「3位を狙え」と委員長命令があったにもかかわらず、ダントツ優勝してしまったのは、まだまだ鍛練と修行が足りないと思っただ次第です。



狙いと違った！？ 志太フレンドリーマッチでも活躍を期待します！

● 港第23自治会 三世代の部 フフロック優勝

体育副委員長 杉山 元希
今回、パタンク大会三世代の部にてブロッ

ク優勝することができました。優勝の秘訣は？とのことなので、少しでも秘訣を教えたいと思います。

練習は、大会前に3回行いました。三世代の部で出場する60歳以上の選手の方はベテランでしたが、それ以外の年代の選手は、ベテランって何？」「どうやってやるの？」といった感じのド素人ばかりでした。ベテランの方たちに競技方法を「から教わり、いざやってみると…全く思うようにできません。そのくせ大人は技術がないのに、あの球に当てて弾いてやろうとか余計なことを考えてしまうのです。しかし、小学生の子供たちは違いました。投げた球をビュットに近づけることだけを考えています。余計な考えはないのです。結果、大会でも子供たちが大活躍！見事優勝することができました。

結論、優勝する秘訣は、子供のように純粹になることです。できもしないことをやろうとせず、純粹にビュットだけを狙えば勝てる…かもしれないよ？

● NPO法人焼津育成の会野いちい

本年度、初めて参加させていただきました。野いちいチームの選手が、他のチームの方々と笑顔で挨拶を交わす姿、大きな声で応援する姿、試合で真剣な表情で「投する眼差し」どの選手も本当に楽しんでいる姿を見ると、素敵な時間を共有させていただいたとうれしく感じます。本当にありがとうございました。

老若男女、障がいの有無に関係なく、皆が

集い、挨拶を交わしあい、ちょっとした会話を楽しみ、競技で「喜」「憂」あう…生活に張りができ、潤うことしたひとときは、とても尊いと感じました。平素な触れ合いと支えあいの中で、どなたも笑顔あふれるまちでありたいですね。

以下、野いちこの選手の皆さんの実直な感想をいくつか紹介します。

*ちょっと緊張したけど楽しかったです。また出たいです。

*楽しかった、優勝したい

*もうちょっと遠くへ投げればよかった。次は頑張る！

■ ワンバウンドふらふら

今年度より正式種目となったワンバウンドふらふら。おむすび型のボールをワンバウンドさせてから受けるこの競技は、ボールの行方にドキマギ。ナイスフレイも飛び出す笑顔あふれる種目です。

● 豊田第8自治会

Bフロック優勝

体育委員長 鈴木 孝浩

毎回毎回参加点のみを積み上げ、年間成績は常に20位代。参加して怪我なく終われたらそれで良いこの風潮が蔓延しておりましたが、できれば上位を目指したい、優勝を味わってみたいと密かに思っていました。

ならば新種目にかけてみるか？」と思い、年度初めから珍しくメンバー集めに走り、スポーツ教室などで練習をしてきました。

ところが、現実には甘くなく大会参加のメンバーが全員集まらなかつたので練習はほとんどできませんでした。最終調整の大会1週間前の豊田地区での練習試合でもミスが目立ち、チームワークも不安でした。

大会でもその悪い流れを引きずり苦戦しましたが、勝ち負けよりも思い切り楽しもう！と開き直り、何とか全試合を粘った結果、優勝することができました。

リラックスして声を掛け合い、楽しみながら爽やかにプレーすることが第一。楽しかった！の声をより多くの人から聞けるよう、今後もスポーツ交流の輪を広げていけたらと思います。

●豊田第9自治会

Cフロック優勝

体育専門委員ふらばぐる担当 村田 友則
やりましたフロック優勝。ありがとうございます。

今回、9自治会では町内会大会の上位チームの選手の方々に有志を募り参加しました。本番までの一か月間に9自治会のスポーツ教室、豊田体育協会のふらばぐる交流大会と練習と実践を行い、選手の皆さんにも積極的に参加していただき、良い準備ができていました！と、言いたいところですが、実は8・10自治会と行なった豊田の交流大会では・・・

ところが、迎えた当日、選手の皆さん何だか絶好調!! 本当に強い! 練習の成果、交流大会の経験をここに一番で見事に発揮していただきました。

このまま良い順位で終われるように頑張ります。



本番に強いことも重要な要素です

●豊田第10自治会

Aフロック優勝

体育委員事務局 松井 雄大
ワンバウンドふらばぐるにおいては、月2回ほどのスポーツ教室と年1度の町内交流大会を開いており、自治会推薦委員会を中心に地域の方々の参加及び協力のもと活動しております。

そうした活動の中、毎回スポーツ教室に参加していただいているメンバーから選手を選抜し、フロック優勝を目指し日々練習を重ねてまいりました。

また、豊田地区では、8、9、10自治会で



これが自治会組織の活動と選手の協力、そしてお酒の力! ?

形成する豊田体育協会という組織がありません。豊田体育協会主催で、市の大会の1週間前に対抗戦を行い、互いに競技力を高めあってきました。その甲斐もあり8、9、10自治会は、各々のフロックにて優勝を勝ち取ることができました。

フロック優勝できたのは、そうした自治会組織の活動は勿論のこと、選手として参加してくださった皆様の協力、そして何よりも優勝して打ち上げのお酒を美味しくいただきたいという想いが強かったためと思われるです。

●東益津第17自治会 Eフロック優勝

体育委員長 久保山 勇

ブロック優勝の勝因は、抽選の運が良く、Eブロックに同じレベルの自治会が集まったことです。まさか優勝できるとは思っていませんでした。

チームの中でよく声が出ていて、元気に楽しくプレーができていたこともこの結果に結び付いたと思います。



運も実力のうち！元気よく！楽しく！

●大富第19自治会 Dフロック優勝

体育委員 櫛田 篤司

令和元年の第1回大会となったワンバウンドならば「この記念すべき大会で選手宣誓という大役のくじをも引き付ける強い運を味方につけ、Dブロック優勝という成績をおさめることができました。」

定期的を実施しているスポーツ教室をはじめ、大会1か月前から週1回の練習ですが、特に監督、指導者を置いて練習しているわけではありません。体育委員が入った試合形式での練習の中、声を掛け合い、つい自分も参加したくなる、そんな雰囲気みんなが楽しそうにプレーし、汗をかいてきました。まずは自分が楽しむこと、そして皆と楽しむことが良い結果につながったと思います。

運だけでは優勝できませんね。選手の努力をはじめ、家族の理解と協力、自治会、体育委員会がスクラムを組んで大会に臨んだことが成果につながったのだと思っています。

◆編集後記◆

令和元年の今年、ラグビーワールドカップが日本で開催され、大いに盛り上がりました。筆者もそれまでルールを知らなかった、いわゆる「わかファン」ですが、特にエコパスタジアムで行われた日本対アイルランド戦において、格上のチームに対し日本が勝利した時には、もろ手を挙げて喜びました。チーム一丸となって勝利に向かって進む姿「ワンチーム」。スポーツの世界だけでなく、様々な場面でこの「ワンチーム」の考え方は適用できるのではないのでしょうか。(岡本)



「声を掛け合い、つい自分も参加したくなる雰囲気」これが大事！